

---

## 第 34 回式年遷宮奉祝事業

# 井浦新 下鴨神社写真展「御生 Miare」

---



「御生（みあれ）」をテーマに、井浦新が2年を通じて下鴨神社の自然や祭、神事を撮影した写真展を開催いたします。式年遷宮を担う神社の人々をコンセプトにした写真を、和紙に染め摺りにして「掛軸」に仕立てました。非公開の重要文化財、神服殿に調和するように<sup>しつらえ</sup>に室礼た作品を通じて、下鴨神社の「御生」を感じていただければと願っています。

また、下鴨神社の四季折々の自然や祭の写真を、井浦のナレーションとともに編集した映像作品を上映いたし、下鴨神社に息づく普遍の美と心をお伝えしたいと思います。

### 【開催概要】

- 期 間： 平成 27 年 6 月 20 日（土）～2015 年 9 月 30 日（水）  
時 間： 10:00～16:00（6 月 20 日は 13:00～16:00）  
※期間中、一部拝観時間の変更がある場合がございます。
- 会 場： 下鴨神社 神服殿（重要文化財）  
拝 観 料： 大人 600 円・小学生 300 円  
※下鴨神社特別公開の拝観料に含まれます。
- 詳 細： 掛軸の作品展示と映像作品の上映で構成しています。  
①染め摺りした和紙のモノクロ作品の掛軸。（別紙参照）  
作品総数（25 点） / 展示作品数（15 点）  
※8 月には、15 点の作品の内、10 点を入れ替えます。  
②井浦新の写真とナレーションによる映像作品。（別紙参照）  
③会場のお香 井浦新監修「御生」（製造：松栄堂）  
④華道家元池坊による立花の特別展示（6 月 19 日、20 日、21 日）
- 特別協力： 株式会社響映、鳳電気土木株式会社、株式会社西産装美  
染め摺り工房キュービック、株式会社オニザキコーポレーション  
華道家元池坊、株式会社松栄堂
- アートディレクション： 大賀匠津（Meta Maniera）  
企画制作： 一般社団法人 匠文化機構
-

## 心のかたち

古来、わが国では「明<sup>あか</sup>き、清<sup>きよ</sup>き、直<sup>なお</sup>き」という心のもちように重きをおいて、日常のくらしをしてきました。誰かに言われたわけでもなく、教えられたことでもありません。親や兄弟と、日々の生活のなかで身につけてきた心情です。

美しい心の有<sup>こころね</sup>様を心根として先祖から受けついできました。その心を「かたち」に現わしたのが御祭です。皆が集まり、今、生きていることを慶び、感謝するのが御祭です。

葵祭の三日前、五月十二日、東山三十六峰の二番目の山の麓で御生神事という御祭が二千年の伝統によりおこなわれています。御生一みあれ、とは、命一いのち、を生む神秘的で大きな力のことです。この宇宙のすべてが御生によってなりたっています。

井浦 新さんは、見えないものを見えるように、無いものが有るよう出来る豊かな表情をおもちの俳優さんです。この度、その心を「かたち」に現してくださいと、お願いしました。

賀茂御祖神社宮司 新木 直人

## 下鴨神社写真展「御生 Miare」

この度、第三十四回式年遷宮の奉祝記念事業として、「下鴨神社写真展」を開催していただくことになりました。タイトルは「御生 Miare」。

今から二年前、葵祭の社頭の儀に代表参拝を務めさせて頂いたことがご縁となり、凡そ二年にわたり、神社の祭りや神事を撮影させていただきました。糺の森で過ごすとき新たに何かが生れる、そして生きとし生けるものすべての命が再生するような気持ちになります。昨年、「御影祭」を撮影した時、神の魂を再生する祭りであることを知り、この不思議な感覚は「御生」そのものではないかと感じました。自然は人に宿り、人は自然に宿る。草木や花、人もしかり、自然の営みは、命の再生を繰り返しているのだと実感します。そして、式年遷宮そのものが「御生」なのだ。

写真展を通じて、僕自身が心に感じた「御生」をお伝えできればと思います。このような栄えある機会を頂きました新木宮司様始め、下鴨神社の皆様、そして、誠心誠意支えて頂きましたスタッフのひとりひとりに心から感謝いたします。

井浦 新

### 【展示会場イメージ】



\* 会場の入口には、井浦新監修のお香「御生」(松栄堂)が焚かれています。

---

## 【井浦新プロフィール】

1974年9月15日生まれ、東京都出身。俳優 クリエーター。

1998年に是枝裕和監督の映画『ワンダフルライフ』で俳優としてのキャリアをスタート。以降、映画を中心にドラマ、ナレーション、新聞や雑誌の連載など幅広く活動。

主な映画出演作品に『ピンポン』、『実録・連合赤軍あさま山荘への道程』、『空気人形』など。

2012年には、第65回カンヌ国際映画祭招待作品『11.25 自決の日 三島由紀夫と若者たち』（若松孝二監督）や第62回ベルリン国際映画祭 国際アートシアター連盟賞をはじめ数々の映画賞を受賞し、『かぞくのくに』（ヤン・ヨンヒ監督）など世界でも評価の高い作品に出演。異なる二つの役柄を演じ、第55回ブルーリボン賞助演男優賞を受賞。

TVドラマでは、NHK スペシャルドラマ『最後の戦犯』、NHK 土曜ドラマ『チェイス～国税査察官～』、NHK 大河ドラマ『平清盛』、CX ドラマ『蜜の味』、『リッチマン、プアウーマン』に出演。

2014年TBS木曜ドラマ『同窓生 ～人は三度恋をする～』に主演。また、NHK『日曜美術館～温故知新！』、NHK BS プレミアム『極上 美の饗宴』、NHK BS『男前列伝』、TX『美の巨人たち』など文化、歴史、美術といった番組にも出演。2013年4月からNHK『日曜美術館』の司会を担当している。2012年12月22日～2013年3月3日にわたり、箱根彫刻の森美術館にて写真展『井浦新 空は暁、黄昏れ展 -太陽と月のはざままで-』を開催。

2013年から京都国立博物館文化大使を務め、日本の伝統文化の価値を広く伝えるために、一般社団法人 匠文化機構を立ち上げる。2015年7月スタート（毎週木曜 22:00）フジテレビ系 木曜ドラマ「探偵の探偵」に出演。

## 【大賀匠津プロフィール】

一般社団法人 匠文化機構理事。株式会社メタ・マニエラ代表取締役社長。グラフィック、エディトリアルデザインをはじめ、広告、WEBサイト、アプリ制作等、幅広いクリエイティブなデザインを手掛ける。

2012年、京都国立博物館『ROSSO ROSSO(古代青銅鏡とフェラーリF1)』の会場、宣伝のアートディレクションを担当。2014年6月高岡市美術館『メタルズー変容する金属の美』の宣伝アートディレクション。

2014年9月京都国立博物館 平成知新館のオープニングポスターを手がける。

(<http://www.meta-maniera.com>)

## 【一般社団法人 匠文化機構について】

井浦新が代表理事を務め、日本の伝統文化や伝統工芸の技を伝承する職人のものづくりを活性化するためのサポートや、日本各地に伝承される祭りや行事のアーカイブ制作等を通じて、伝統文化の美や心を広く伝える活動をおこなう。一般社団法人 匠文化機構の活動内容は、HPをご覧ください。

(<http://takuminokoto.com>)

## 【お問合せ先】

### ■一般社団法人 匠文化機構

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-7-20 DOT ビル 3F

TEL : 03-5420-3488 / FAX : 03-5420-350 / E-mail : [info@takuminokoto.jp](mailto:info@takuminokoto.jp)

### ■賀茂御祖神社（下鴨神社）

〒606-0807 京都府京都市左京区下鴨泉川町 59

TEL : 075-781-0010 / E-mail : [info@shimogamo-jinja.or.jp](mailto:info@shimogamo-jinja.or.jp)

---